## パブリックコメントの実施結果(概要)

## 1 パブリックコメントの実施結果

- (1) 実施期間 令和3年12月21日(火)~令和4年1月14日(金)
- (2) 周知方法と閲覧場所
  - ○こうとう区報(令和3年12月21日号)に概要を掲載
  - ○区ホームページに全文を掲載
  - ○都市計画課窓口、こうとう情報ステーションに全文を配架
- (3) 意見の提出方法 郵送、ファックス、メール、区ホームページ、都市計画課窓口
- (4) 提出人数等
  - ○提出人数:213人(郵送173人、ファックス1人、メール及び

区ホームページ36人、窓口持込3人)

○意見件数:272件

表 1 提出人数(年代別)

年 代	人数	割合
20 代以下	11 人	5. 1%
30代	30 人	14. 1%
40代	35 人	16. 4%
50代	44 人	20. 7%
60代	33 人	15. 5%
70 代以上	46 人	21.6%
不明	14 人	6.6%
合 計	213 人	100.0%

表 2 提出人数(地区別)

地区	人数	割合
1 深川北部地区	27 人	12.7%
2 深川南部地区	38 人	17.8%
3 城東北部地区	35 人	16.4%
4 城東南部地区	30 人	14. 1%
5 南部地区西	33 人	15. 5%
6 南部地区東	28 人	13. 2%
7 湾岸地区	2 人	0.9%
区内不明	1人	0.5%
区外	2 人	0.9%
不明	17 人	8.0%
合 計	213 人	100.0%

表 3 意見件数 (分類)

	分類	件数	割	合
	第1章 改定の基本的な考え方	17 件	6.3%	
計画に関する	第2章 まちづくりの将来像と 都市づくりの方針	14 件	5. 1%	75. 0%
意見	第3章 テーマ別まちづくり方針	118 件	43.4%	
	第4章 地区別まちづくり方針	42 件	15.4%	
	第5章 計画の実現に向けて	1 件	0.4%	
	計画全般	12 件	4.4%	
区政一般に関する意見		68 件		25.0%
合 計		272 件		100.0%

## 2 パブリックコメントで寄せられた意見要旨と区の考え方

No.	要旨	区の考え方(案)		
第13	章 改定の基本的な考え方			
重点	重点戦略1について			
1	地下鉄8号線延伸によるST1(枝川)周辺のまちづくりについて、東陽町駅から汐浜運河、東京メトロ深川工場をオーバーブリッジ、JR貨物線、汐見運河を超えてJR潮見駅エリアに結ぶルートと地域開発をお願いする。	地下鉄8号線の延伸については、本年1月に、東京メトロが国土交通大臣に対して鉄道事業許可を申請しており、当該申請に基づきルートが決定されるものと認識しています。新駅(ST1)周辺のまちづくりについては、地下鉄8号線の延伸による新駅の設置に伴う土地利用転換を見据え、多様な人々が訪れ交流できる新たなにぎわいのあるまちの形成を目指します。 区も長期的な構想路線として位置付けており、東京メトロの開発に合わせて、新駅周辺の充実した交通結節機能を誘導し		
2	重点戦略について、対象となる駅の乗 降者数や各出入口の動き、各出入口周 辺の環境を考えたまちづくりを期待 する。 住吉駅の出入口の往来が難しく、ベビ	ます。 地下鉄 8 号線延伸により設置される新駅も含め、人が多く集まる鉄道駅やその周辺などについて、移動空間をバリアフリー化するなど、誰もが移動・滞留しやすい環境整備を推進します。		
	一カーや車いすの利用がしやすいよ			
<b>手上</b> "	うな安全性の確保をして欲しい。			
	戦略 2 について			
3	オリンピック・パラリンピック施設に ついては、有事の際の避難施設として の活用を視野に入れてほしい。	施設の平常時、非常時の両方の活用について、東京都と連携して検討していきます。		
4	重点戦略 2 について、特にパラスポー	バリアフリー化や先端技術を活用すると		
	ツにも力を入れてテクノロジーを活	ともに、パラリンピックのレガシーを継		
	用してバリアフリーで優しいまちづ	承したまちづくりやスポーツを楽しめる		
	くりを目指してほしい。スポーツでに	環境の整備を推進します。		

No.	要旨	区の考え方(案)
140.	<b>季日</b> ぎわい、参加できる取り組みをしてほ	という人力(来)
5	OV':   スケボーパークについては現在区内	 スケートボードに関連し、オリンピック・
	の公園でも滑れる所がなく、また、東	パラリンピックのレガシーと周辺施設の
	京オリンピックで興味を持ち、スケボ	グラックにより、子ども達を含めスポー
	ホイックとダクと興味を持ち、ペッパ   一を始めた子ども達の練習できる場	どのなどにより、
	がないので期待している。	フで未しのる探究を開て推進しより。
	73 /AV 102 CANNO C V 120	
6	海の森のビジョンづくりをお願いす	東京都の「東京ベイ eSG プロジェクト」
	る。	「東京ベイ eSG まちづくり戦略」を踏ま
		え、重点戦略「未来の臨海部のまちづく
		り」を推進します。
7	新木場・有明・青海・海の森・若洲を	東京都の「東京ベイ eSG プロジェクト」
	モノレールで継ぎ、新木場は空の活	「東京ベイ eSG まちづくり戦略」を踏ま
	用、青海はイベント・情報、海の森は	え、重点戦略「未来の臨海部のまちづく
	海賊(船等)、若洲はキャンプ等をテ	り」を推進します。
	ーマに開発する。世界中でここでしか	
	体験できない施設をつくる。	
8	臨海部のアクセス性向上のために、船	水辺を活用した交通ネットワークや、人
	のネットワーク向上、歩車分離、デッ	中心の道路空間の形成を推進します。
	キなどにより上下分離などをお願い	
	する。	
重点	戦略3について	
9	浸水対応型まちづくりについては、オ	先進事例などを参考に、今後、具体的な
	ランダなどの先進国を参考にグロー	浸水対応型まちづくりを検討します。
	バルに考えていただきたい。	
10	浸水対策としての大規模開発や公的	重点戦略「浸水対応型のまちづくり」は、
	住宅の建て替え、電気室や倉庫の計画	個別の浸水対応型建築物の整備を進め、
	変更など、小規模なものから大規模な	面的に広げていくものですが、関係事業
	ものまで多く対応する必要があり、ス	者との連携が不可欠であり、スケジュー
	ケジュールや予算について情報提供	ルや予算のあり方については、今後検討
	をお願いしたい。個人的には、電気の	していきます。
	中継点などの大規模インフラの耐震	
	性及び液状化に対する安全性が懸念	
	事項として挙げられると考える。	

No.	要旨	区の考え方(案)
11	重点施策の方針である「高台まちづく	浸水リスクに対応する垂直避難ゾーンを
11	り」は、国・東京都とも連携、効果が	形成するため、「浸水対応型の建築物の
	期待される。城東地区の横十間川や北	整備   や、それを広げていく「浸水対応
	十間川に囲まれた亀戸3丁目には新た	型のまちづくり」を促進します。
	な具体的計画が全くない。住宅が密集	王のようシャラ」を促進しより。   「震災に強い都市の形成」に向けて、幹
	する亀戸5丁目を含め防災を加味した	はは、一般のでは、一般のでは、一般がある。
	公園やコミュニティ施設、介護施設の	倒壊による緊急車両の通行の支障を防ぐ
	公園でコミューティル設、川護ル設の    充実が求められる。	
		無電柱化、ライフラインの耐震化等に取
	住みやすいまちづくりとしては地震、	り組みます。 
	津波、豪雨による電柱の倒壊、地盤崩壊による緊急の動車、神災者の送路で	
	壊による緊急自動車、被災者の道路確	
	保が重要。細い街路のオープン化、電	
12	柱の地中化も必要である。	7.### = No. 1. #1.## /#/#   T.#.
12	浸水対応型のまちづくりという視点	建替えや大規模修繕工事にあたっては、
	に賛成する。特にデッキや屋上を浸水	専門家の派遣や老朽建築物除却助成など
	直後の周辺住民の一時的な垂直避難	の支援とともに、「浸水対応型のまちづ
	スペースや物資配給の中継拠点とす	くり」を促進します。
	ることはよい。促進させるためには、	
	開発や団地の建て替えの際に、区から	
	の補助や緩和措置等する必要がある。	
13	荒川の細い堤防については、中央防波	国と連携して、高規格堤防整備事業を推
	堤埋立地を活用しながら強化するの	進します。
	が急務である。	
14	重点戦略3の治水に関する取り組みに	国や東京都と連携して、防潮堤や護岸施
	注力してほしい。	設の整備を推進するとともに、重点戦略
		として「浸水対応型のまちづくり」を促
		進します。
15	門前仲町、越中島、清澄白河周辺の観	観光まちづくりについては、「自然や文
	光促進を重点戦略4にする。	化、地域資源が織りなす観光・交流都市」
		の実現に向けた取組方針を示していま
		す。

No.	要旨	区の考え方(案)
16	現在の区内のスポーツ施設・福祉施設	「江東区国土強靭化地域計画」の取組を
	の規模・分布を見ると旧深川区偏重と	推進するとともに、都市計画マスタープ
	なっている。「亀戸副都心計画」につ	ランにおいても、亀戸を含む「垂直避難
	いては一切何も行われなかった。「災	ゾーン」を設定し、重点戦略「浸水対応
	害に対する強靭化」というお題目では	型のまちづくり」を促進します。
	なく、『具体的な強靭化計画』である	
	はず。被害者が出る前に早急な対策が	
	必要である。	
直点	戦略その他について	
17	清澄白河を中心としたサブカルチャ	文化交流の促進については、「自然や文
	ーを発展させる施策を行うことも重	化、地域資源が織りなす観光・交流都市」
	点戦略に加えてほしい。	の実現に向けた取組方針を示していま
		す。
第2	章 まちづくりの将来像と都市づくりの	方針
将来	都市像について	
18	「2. 水辺と緑に彩られ、快適で心豊か	自然と調和した快適な生活環境の形成を
	な生活が享受できるまち」に同感。さ	目指します。SDGs 目標 14 「海の豊かさ
	らに SDGsNO.14 を鑑み、クリーンア	を守ろう」の実現に向けて、環境影響の
	ップ江東区民みんなで街や海を綺麗	適正な評価、対策を推進します。
	にする区を掲げてほしい。	
19	「共生」を全面に謳いながら、表面的	「目指すべき江東区のまちの姿」として、
	な優美・快適さが中心で、その内実 (真	「多様な人が住みやすく、健康に生き生
	の豊かさ・インクルーシブ環境)が見	きと暮らせるまち」を掲げ、まちづくり
	えていない。重度障害者を含め、誰に	に取り組みます。
	でも優しい豊かな街づくりを、次世	
	代・子ども達が誇りを持てるまちづく	
	りをお願いする。	
20	地域社会コミュニティは総論的であ	「目指すべき江東区のまちの姿」として、
	る。活発なコミュニティ活動に支えら	「交流・活動によるにぎわいが絶えず、
	れた地域社会で、多様性、交流等を目	成長し続けるまち」を掲げ、まちづくり
	指すべき。	に取り組みます。

都市構造について

No.	要旨	区の考え方(案)
21	ゾーニングの考え方は、その地域の特徴を伸ばしていく考えとしては良いと思うが、地域住民にとって必要なものが欠落している状況は放置してはならない。例えば、城東北部北西側、深川北部西側は、南部地区東北側は緑が少ない。	各地区でのまちづくりについては、地区 別まちづくり方針に基づき、地域特性に 応じたきめ細かなまちづくりを推進しま す。
22	南北都市軸の表示で地下鉄8号線の延伸としながら、住吉駅から亀戸へ急力 ーブするのに違和感がある。	南北都市軸には、地下鉄8号線延伸区間のほか、既存の鉄道路線やバス網を含んでいます。
23	南北都市軸が早く出来る事を望む。	地下鉄8号線の延伸の早期事業化を推進するとともに、駅周辺のまちづくりや、 新駅周辺の充実した交通結節機能を誘導 します。
24	区内の南北都市、交通軸は必要である。特に高齢者、主婦(夫)にとってやさしいまちづくりを目指すべき。多様な世代が住まいとして選ぶ区であるため、公共での交流と地元を拠点とした活動を増やせられるパブリックスペース(例:団地広場の緑化、ベンチや公共テーブルを増やす等)の設計が欲しい。	重点戦略「地下鉄8号線延伸のまちづくり」に基づき、南北都市軸の形成を推進するとともに、コミュニティ活動を支える環境づくりや、ダイバーシティ(多様性)社会に向けた取組を推進します。
25	南北都市軸を形成するにあたり、有明 エリアも構想の中に入れていただき たい。	有明エリアも含め、南北都市軸の形成を 推進します。
26	地下鉄 8 号線延伸について:現在の江東区の計画では「住吉」までのはずで、マスタープランに表記されているように「亀戸」を通過する延伸の計画は無いはず。このような計画があるかのように表示するのはよくない。	南北都市軸には、地下鉄8号線延伸区間のほか、既存の鉄道路線やバス網を含んでいます。
27	南北都市軸については、地下鉄駅を拠点とした各地区別に特徴のある開発 を行うべき。サブの南北都市軸として	南北都市軸については、拠点の方針に基 づき、地域特性を踏まえたまちづくりを 進めていきます。区の「長期的構想」に

No.	要旨	区の考え方(案)
	の新木場〜亀戸 LRT の整備検討にも	位置付けている JR 越中島貨物線を活用
	着手されたい。	した亀戸〜新木場間の LRT の導入につ
		いては、他の自治体の導入事例などを参
		考に引き続き検討します。
拠点の	の方針について	
28	「清澄白河」と「門前仲町・越中島」	両拠点とも「歴史・文化・水辺」という
	のタイトルが同じであるのは、検討不	特性がありますが、「回遊性」「観光」と
	足である。全ての拠点に「〜都市」と	いう言葉で差別化しています。「都市」
	ネーミングしているが「都市」よりも	の表現については、都市核・広域核は「都
	「〜エリア」「〜ゾーン」「〜地区」	市」、地域核は「まち」を用いています。
	などのネーミングの方が実態に合っ	
	ている。	
土地	利用について	
29	建物の建て替えの時に、住民の金銭的	集合住宅の戸数・規模については、入居
	負担を軽減するため、用途地域の変更	者の選択が基本となりますが、建替えや
	や建て替えを容易にできるような施	大規模修繕工事にあたっては、専門家の
	策をお願いしたい。	派遣や老朽建築物除却助成などの支援を
		しています。
広域	連携について	
30	江戸川区との連携が必要。	広域防災等について、隣接区と連携した
		取組を推進します。
31	湾岸エリアの発展を見据えて、区内だ	他区とも連携を図りつつ、「スポーツ」
	けでなく区外から人を呼び込むよう、	「テクノロジー」「自然」が共生する持
	中央区や港区と連携した交通や公園	続可能な湾岸軸を形成します。
	整備をプランに入れてほしい。	
第3	章 テーマ別まちづくり方針	
1. 5	緊急時にも適時的確に対応する回復力の	高い都市(安全・安心部門)について
32	橋においても、一般道同様、歩行者と	橋の部分も含めて、歩行者が安全に通行
	自転車の分離が分かるよう整備して	できるよう、ガードレール設置、カラー
	ほしい。	舗装、交通規制や物理的措置による速度
		   抑制を行うなど、関係機関と連携して安

全な道路環境を形成します。

No.	要旨	区の考え方(案)
33	近い将来必ず来る大地震やゼロメー	「震災に強い都市の形成」「大規模水害
	トル故の水害は緊急の対策が必要で	に備えた都市防災対策」に取り組むとと
	ある。できうる事は近々にも実施して	もに、重点戦略として「浸水対応型のま
	ほしい。	ちづくり」を促進します。
34	大地震に備える方針を充実してほし	「防災に資する都市基盤の整備」「耐震・
	ر١ <sub>°</sub>	不燃化の推進」に取り組みます。
35	災害が発生した後の対応が迅速にで	江東区震災復興マニュアル」に基づき、
	きるようにしてほしい。	復興事前準備に取り組みます。
26		
36	荒川の治水計画をもっと推進してほ   , , 、	国と連携して、高規格堤防整備事業を推
27		進します。
37	新しいマンションを作る時は、最上階	浸水想定エリアなど浸水リスクの高い地
	に色々な備蓄、トイレ、電気を充電で	域においては、中高層建築物の電気室や
	きる建物やエコなマンションにつく	備蓄倉庫、集会所を、浸水時にも居住や
	りかえて行く努力など、少しでも助か   る人、子ども達が残れるよう努力して	施設の使用に支障が生じないように想定       浸水高さ以上に設け、デッキや屋上に浸
	る人、子とも達が残れるよう労力して ほしい。	及ぶ高さ以上に設け、デッキや屋上に及
		パースや物資配給の中継拠点として機能
		する空間を設けるなど、浸水対応型建築
		物の整備を促進します。
38	電線の地中化を推進し、進捗状況を区	江東区無電柱化推進計画に基づき、段階
	   民に共有してほしい。	   的に道路の無電柱化を推進します。
39	一戸建ての住民が避難できる施設を	震災時の利用を事前に想定した防災広場
	充実してほしい。	などの用地確保を推進するとともに、マ
		ンホールトイレなどの公園用防災施設の
		充実や区立施設における雨水利用の導
		入、輸送体制の強化に向けた防災船着場
		の整備、避難所の備蓄機能の強化などを
		推進します。
40	テーマ1には防犯もタイトルに入れて	テーマ1については、防犯の視点も含め
	はどうか。	て回復力の高い都市という表現を用いて
		おり、取組方針 5 に示す通り、防犯まち
		づくりを推進します。

No.	要旨	区の考え方(案)
41	防犯カメラの設置を増やしてほしい。	街頭における防犯カメラや防犯灯、夜間
		照明などの防犯設備の設置を支援しま
		す。
2. j	地球温暖化対策に対応する脱炭素都市(	環境部門)について
42	コージェネレーションシステムは原	街区・地区単位でエネルギーの効率化と
	動機等により電力と熱を供給するシ	脱炭素化を進めるため、大規模な開発に
	ステムであり、電力と廃熱の両方を有	際しては、東京都などと連携し地域冷暖
	効利用することで CO2 排出量の削減、	房やコージェネレーションシステム
	省エネルギーによる経済性向上を図	(CGS)などによる熱や電気の相互利用
	れる。都市ガスによる空調システム	など、街区・地区単位での環境負荷の低
	は、平時においても電力のピークカッ	減を促進します。また、住民の方々への
	トに資することができるため、国の節	啓発や助成制度についても、関係部署と
	電要請に貢献できる。	連携して推進します。
	脱炭素化社会の実現のため、住民の	
	方々への理解促進、省エネ・省 CO2 に	
	向けた行動変容の促進とともに、それ	
	を支援する助成制度等が重要。	
43	アクリル物流倉庫の火災が長く鎮火	脱炭素社会の実現に向け、安全性に配慮
	しなかったのも、屋根に敷き詰めた太	しつつ、エネルギー効率の高い都市づく
	陽光パネルが原因であったといわれ	りを促進します。
	ており、安易に太陽光パネルや関連設	
	備の設置を奨励しないでほしい。	
44	EV 充電設備を増やしてほしい。	次世代自動車の普及に応じて、電気自動
~		車などの充電設備の設置を誘導します。
45		
46	レンタサイクルのポートの増設をお	区内におけるコミュニティサイクルにつ
	願いしたい。	いて、観光客や通勤者の利用状況を踏ま
		え、増設を推進します。
47	ゼロエミッションを代表する自転車	自動車利用環境の向上のために、自転車
	を最大限に利用すべき。自転車道、駐	通行空間ネットワークの形成や自転車駐
	輪場所の整備を望む。	車場の整備、確保を推進します。
48	排気ガスを減らすため、高速道路の地	高速道路の地下化は首都高速道路(株)、
	下化、燃料電池バス、水素エネルギー	燃料電池バス・水素エネルギーバスの普
	バスの普及を望む。	及については東京都が取り組んでいると
		ころですが、区においても「テーマ別ま

No.	要旨	区の考え方(案)
NO.	<b>X</b> E	ちづくり方針   に基づき、環境負荷を低
		あってのがように盛って、深気兵間では     減する交通環境づくりを推進します。
40	カル屋の建物はできてだけませんでき	
49	中低層の建物はできるだけ木材(でき	公共施設の新築・改築の際には、木材の
	れば国産)を使用して、脱炭素社会に向	多様な活用方法を検討し、㎡あたりの木
	けた循環型の持続可能な未来社会を	材利用の割合のさらなる向上を図りま
	実現してほしい。	す。また、民間建築物の新築・改築につ
		いては、「江東区公共建築物等における
		木材利用推進方針」に基づき、建築物の
		木質化を促進します。
	水辺と緑に彩られ交流と活力を生み出す <mark>。</mark>	
50	湾岸部に位置している江東区の独特	水辺・潮風の散歩道整備などによる水彩
	の強みを活かして、回遊性の高い水辺	軸の形成を図るとともに、道路等の緑化
	と緑のネットワークの形成を推進し	空間の整備や保全により、回遊性の高い
	てほしい。	水辺と緑のネットワークの形成を推進し
		ます。
51	道路に木を植える。	幹線道路等の整備の際には、関係機関と
		連携し、緑化を促進します。
52	区内の植物の選定を見直すとともに、	緑化空間の快適性を向上させるため、地
	樹木の剪定の回数を減らし樹々の保	域の景観特性等に配慮した樹形の適切な
	全を守る。	維持管理を可能な限り行い、道路や緑道
		公園などの緑化空間を保全します。
53	「みどりの中の都市」として、屋内の	区民が中心となった緑を守り育てる活動
	緑化、花の普及も併せて推進する。	を活性化させるため、地域で緑に親しめ
		る環境づくりを推進します。
54	水辺を利用した親水公園、カフェなど	河川や公園、その他公共空間において、
	の施設を増やしてほしい。	イベントの開催やオープンカフェの運用
		など、水辺と緑を活用したにぎわいづく
		りを民間事業者等と連携し促進します。
55	早急に海の森公園を整備して活用す	海の森では、屋外スポーツやレジャーの
	べき。ゲートブリッジの中防昇降タワ	拠点として若洲海浜公園と海の森公園と
	ーも一般開放して、中央防波堤側に降	の連続性を活かし、都心近傍で豊かな自
	りられるようにすべき。夢の島公園ま	然を感じられるパークエリアを目指しま
	で続く公園もつくってほしい。	す。整備については、関係機関と連携し
		て推進します。

No.	要旨	区の考え方(案)
56	公園、街路樹を緑で美しく保持してほ	民間における緑化や維持管理の推進を図
	しい。	るとともに、公共空間の緑化や維持管理
		により、身近に感じられる水辺と緑の環
		境づくりを推進します。
57	外来種駆除による生物多様性、自然保	より豊かな生態系の保全に向けて、ビオ
	護に関しては、区の HP 外来種駆除の	トープ(ポケットエコスペース)の充実
	ページが少ないなど、取組に熱意が感	を図ります。また、情報発信については、
	じられない。	検討していきます。
58	生物多様性の視点が欠けている。	「将来都市像」を構成する5つの「目指
		すべき江東区のまちの姿」の1つに「水
		辺と緑に彩られ、快適で心豊かな生活が
		享受できるまち」を示しており、「自然
		と調和した快適な生活環境が形成されて
		います」の「自然」に生物多様性の視点
		を含んでいます。
59	ウミネコの被害について。営巣場所を	簡易的なウミネコ防除網の設置方法を周
	積極的に作ることも問題解決の一つ	知するなど、ウミネコ被害の防止につい
	である。その地域ならではの生物とい	て周知をしています。今後も、ウミネコ
	かに共存していくかを考える時代で	被害の対策について検討します。
	ある。	
60	横十間川親水公園は鳥たちにとって	「将来都市像」を構成する5つの「目指
	利用しづらい空間になっている。仙台	すべき江東区のまちの姿」の1つに「水
	堀川公園の改修もとても残念であっ	辺と緑に彩られ、快適で心豊かな生活が
	た。内部河川は人工的な川ではある	享受できるまち」を示しており、自然と
	が、その中には魚や水生生物がいる。	調和した快適な生活環境の形成を推進し
	生き物のネットワークも考慮して計	ます。
	画していただきたい。	
61	ポケットエコスペースの維持管理が	より豊かな生態系の保全に向けて、ビオ
	上手くいっていない。ビオトープに関	トープ(ポケットエコスペース)の充実
	連するシステム構築を提案する。	を図り、適切な維持管理を推進します。
62	持続可能なまちづくり、生物多様性に	「将来都市像」を構成する5つの「目指
	貢献するまちづくりが重要である。	すべき江東区のまちの姿」の1つに「水
		辺と緑に彩られ、快適で心豊かな生活が
		享受できるまち」を示しており、自然と

No.	要旨	区の考え方(案)
		調和した快適な生活環境の形成を推進し
		ます。
63	大面積のビオトープ、地面の連続し樹	より豊かな生態系の保全に向けて、ビオ
~	幹がつながる街路樹(コリドー)、自	トープ(ポケットエコスペース)の充実
64	然情報集結と環境教育の場としての	を図ります。
	博物館かビジターセンターの設置を	幹線道路等の緑化は、関係機関と連携し
	提案する。	推進します。また、既存の街路樹に関し
	草本が連続する街路樹の整備など、健	て樹形に配慮した適切な維持管理を実施
	康に貢献するまちづくりを総合的に	していきます。
	進めるべき。	環境教育の場の設置については、関係機
		関と連携し、検討します。
		身近に運動等ができる公園の整備を推進
		します。
65	東京スカイツリーと「緑の水辺」プロ	水辺を活かした多様で魅力ある取組を推
	ムナードを連携し、区内の歴史・文化	進するとともに、施設をつなぐ広域的な
	資源を活用し、回遊性向上、地域活性	観光連携を目指します。
	化、観光化に役立てる。	
	(観光交流部門)	
66	護岸は親水性になじまないが水辺を	河川や運河沿いを歩きながら水辺に親し
	活用し、「子供が遊べる」「若者が楽	める環境として、東京都と連携して水辺・
	しめる」場所を整備してほしい。	潮風の散歩道の整備を進め、連続性・回
		遊性の向上を図るとともに、イベントの 開催やオープンカフェの運用など、水辺
		と緑を活用したにぎわいづくりを民間事
		業者等と連携し促進します。
67	   水辺の散歩道の解放されていない区	今後も、東京都と連携して水辺・潮風の
07	間の解放について取組を明記してほ	散歩道の整備を進め、連続性・回遊性の
	Lu.	向上を図ります。
	しゃ。   橋と橋の間隔が広いことから、右岸と	回遊性の向上や歩行者専用橋等の整備に
	左岸の行き来が容易ではなく、地域と	ついては、体系的な道路ネットワークの
	しての回遊性が高いとは言えない状	一環として整備を検討します。
	況です。回遊性を高めるにあたり、歩	
	行者専用橋等の整備についても、明記	
	してほしい。	
	(道路交通部門)	

No.	要旨	区の考え方(案)
4. 3	多様な暮らしを育む定住都市(住環境部	門)について
68	ワンルームマンションの規制をお願	ワンルームマンション建設の際には、高
	いする。都市開発の中で住民が直接関	齢夫婦やひとり親世帯など多様な人々が
	係する生活環境も行政に都市開発と	長く住み続けることができる、良質な住
	して扱っていただく事をお願いする。	環境の形成を誘導します。
69	大規模団地を中心に日本語教室を開	ダイバーシティ(多様性)の概念を取り
	催し、外国人住民が日本のルールを学	入れるとともに、外国人住民のサポート
	べるきっかけづくりを住まいの面か	に向けて、地域の利便性向上やコミュニ
	らサポートしてほしい。	ティの場づくりなどを、各事業者と連携
		して推進します。
70	(テーマ4) と (テーマ5) について、	住宅ストックの維持・再生、公的賃貸住
	今ある施設を有効活用してほしい。	宅の再生による住環境づくりを推進しま
		す。また、区内の公園やスポーツ施設を
		活用し、スポーツを楽しめる環境整備を
		推進します。
71	地域コミュニティ活動の形成の加速	コミュニティ活動を支える環境づくりの
	に向けて必要な認可と支援をお願い	ため、町会・自治会や商店会などの地域
	する。	の団体間のネットワークを活かしたまち
		づくり方針を検討します。
72	障害者が永住できるシェアハウスを	高齢者、障害者などのうち、住宅確保要
	つくってほしい。	配慮者につきましては、住替え相談や支
		援体制の充実を図るとともに、住宅及び
		福祉関連団体との連携強化、公的賃貸住
		宅の活用、セーフティネット住宅の普及
		促進、高齢者及び障害者向け施設の整備
		などの取組を推進します。
73	都営団地内の施設が古いので、高齢者	地域の状況や東京都との協議を踏まえ、
	のために新しくするなど改善してほ	福祉施設などの公共施設の配置や周辺環
	しい。	境と調和した設備を誘導します。
74	老朽化した大規模団地の建替え、高層	公的賃貸住宅の再生による住環境づくり
	化と地盤のかさ上げとあわせて、併せ	を進めるとともに、大規模開発や公的賃
	て緊急避難施設を整備してほしい。	貸住宅の建て替えなどの機会を捉え、重
		点戦略3に示す通り、浸水対応型のまち
		づくりをあわせて促進します。

NI -	#P	ロのキュナ (中)
No.	要旨	区の考え方(案)
75	あまりマンションばっかり増やして	新規マンション建設の際には、「マンシ
	はしくない。街に魅力がないまま大規	ョン等の建設に関する条例」に基づく公
	模なマンションばかり増やすと、イン	開スペースや生活利便施設、地域貢献施
	フラが追い付かず、将来スラム化する	設などの設置により、周辺環境と調和し
	恐れがある。 	た良好な住環境へ誘導します。
	誰でも生き生きと暮らせる健康都市(健	
76	東京オリンピック施設を活用し、スポ	オリンピック・パラリンピックのレガシ
	一ツの街として皆が集まり、楽しめる	一と周辺施設を横断的に連携させるな
	拠点としてほしい。	ど、区内外の人が健康増進やスポーツに
		親しめる場を整備し、スポーツ施設を中
		心としたまちづくりを推進します。
77	オリパラ跡地は名残を消してしまう	誰もがスポーツを楽しめる環境づくり
~	ような宅地化はせず、人々が集うよう	や、スポーツを中心としたにぎわい創出
78	な公園やスポーツパークにするなど、	を目指し、オリンピック・パラリンピッ
	開催記念となるような開発をしてほ	クのレガシーの活用など有明レガシーエ
	しい。有明は、スポーツをテーマにし	リアのまちづくりについて、積極的に東
	たまちづくりをするべき。	京都と協議、調整してまいります。なお、
	有明アーバンスポーツパークにスケ	聖火台は有明レガシーエリアには設置さ
	ートボード施設を残し、青海アーバン	れない予定です。
	スポーツパークから施設を移設、夢の	
	大橋から聖火台移設するなど、東京オ	
	リンピック大会の遺産としてほしい。	
79	公共の公園には「ぶら下がり健康器	公園の改修や新設の際には、利用者の二
	具」を必ず設置してほしい。	ーズを踏まえて健康遊具を設置するな
		ど、幅広い年齢層の人々の身近な場所と
		して、運動等を促進する公園を整備しま
		す。
80	ケアの必要な方々(ヤングケアラー、	「誰でも生き生きと暮らせる健康都市」
	LGBTQ、介護、子育てなど)も含めて、	の実現」に向け、運動習慣の定着による
	誰もが安心して暮らせるまちづくり	健康まちづくりを推進します。
	をしてほしい。	
81	水辺、スポーツの江東にふさわしい、	区内のスポーツ施設のさらなる活用によ
	大人も子どもも楽しめるまちにして	り、よりスポーツのしやすい環境整備を
	ほしい。	進めるともに、公園においてはカヌーや

No.	要旨	区の考え方(案)
		ランニング、サイクリングなどのスポー
		ツを楽しめる水辺を活かした環境整備を
		推進します。
82	スポーツ施設を増やしてほしい。	区内のスポーツ施設のさらなる活用によ
		り、よりスポーツのしやすい環境整備を
		進めるともに、公園においてはカヌーや
		ランニング、サイクリングなどのスポー
		ツを楽しめる水辺を活かした環境整備を
		推進します。
6. 1	<b>快適に移動できるネットワーク都市(道</b>	路・交通部門)について
83	地下鉄8号線延伸のまちづくりを推進	地下鉄8号線の延伸の早期事業化及び駅
~	してほしい。	周辺のまちづくりを推進します。
95		
96	地下鉄8号線延伸とともに、半蔵門線、	移動負担の少ない快適な乗換移動に向け
	都営新宿線が交差する住吉駅が、改札	て、関係機関と連携し推進します。
	を通らずに乗換できるといい。	
97	地下鉄8号線の終点は成田空港にアク	運行計画については、今後、事業主体に
	セスしやすいと嬉しい。	おいて検討されることになります。なお、
		平成 28 年度に実施した区調査では、地
		下鉄8号線の延伸により、成田空港への
		アクセス利便性向上が見込まれていま
		す。
98	地下鉄8号線は、江東区がどれだけの	地下鉄8号線延伸に関する費用負担につ
	金額を出資するのか区民にしっかり	いては関係機関と協議中です。区が必要
	公表して理解を得てから進めるべき。	な負担をする場合には、区議会や区民へ
		の説明等について適切に対応していきま
		す。 
99	地下鉄8号線を補完する公共交通軸と	豊洲、豊洲市場や東京テレポートなどを
~	して、BRTの開通を遅れなく進めてほ	結ぶ「東京BRT」の運行に向けて事業
101		主体である東京都などの関係機関と連携
	都バスの増便や BRT の開通を実行し	して推進します。
	てほしい。	

No.	要旨	区の考え方(案)
102	JR の貨物線の旅客化を希望する(亀戸	亀戸の交通利便性向上については、JR 越
~	-西大島-日曹橋-潮見)。	中島貨物線を活用した亀戸〜新木場間の
103	亀戸に地下鉄の駅をつくってほしい。	LRT の導入を、他の自治体の導入事例な
		どを参考に引き続き検討します。
104	ST1 駅周辺のまちづくりに期待する。	新駅(ST1)周辺のまちづくりについて
	京葉線沿線はこれからも発展する。北	は、地下鉄8号線の延伸による新駅の設
	の方からの人の流入により、区の活性	置に伴う土地利用転換を見据え、新たな
	化は進む。また、都市型のアウトドア	にぎわいのあるまちの形成を目指しま
	に力を入れたらどうか。	す。
		新たな観光を創出する拠点の整備に向け
		て、地下鉄8号線の延伸を契機とした観
		光拠点づくりを推進します。
105	地下鉄を有明にも通して欲しい。	令和3年7月の国の交通政策審議会答申
	生活に必要な公共施設を造ってほし	を踏まえ、都心部と臨海地域をつなぐ「都
	() <sub>o</sub>	心部・臨海地域地下鉄構想」の事業計画
		の検討が東京都において始められていま
		す。
		有明都市核については、業務・商業・教
		育・宿泊・MICE 関連施設・レクリエー
		ション等の多様な都市機能を誘導し、住
		環境との調和を図ります。
106	無駄無く効率的な「江東区全体をつな	快適に移動できるネットワーク都市に向
	ぐ交通ネットワーク」の形成をお願い	けて、効率的に移動できる公共交通ネッ
	する。	トワークの形成を推進します。
107	有明の地区内外の公共交通を強化し	有明都市核について、地区内外の移動を
	て欲しい。(モビリティの強化)	円滑にするため、人中心の道路空間形成
		や次世代モビリティ、舟運などの導入を
		検討します。
108	都心臨海地下鉄構想への推進協力を	都心部・臨海地域地下鉄構想の整備につ
	明記してほしい。	いては、進捗状況に応じて関係機関と連
		携し、推進します。
109	辰巳での交通の充実をお願いする。	大規模団地の建て替えに合わせ、駅周辺
		を中心に、交流機能や利便施設、公共施
		設等の都市機能をバランス良く誘導しま
		す。

No.	要旨	区の考え方(案)
110	臨海部は人口のわりには交通の便が	地下鉄8号線の延伸の早期事業化を推進
	非常に悪いと思います。地下鉄8号線	します。また、都心部や空港などへのア
	延伸、新たな公共交通の充実をお願い	クセス強化を進めるとともに、誰もが移
	したい。	動しやすい交通環境の形成を目指しま
		す。
111	りんかい線 JR 化、羽田アクセス線、	東京テレポート駅における羽田空港アク
	BRT 等の早期整備を期待する。	セス線とりんかい線との相互直通運転化
		及び新木場駅における京葉線とりんかい
		線の相互直通運転化を促進します。また、
		豊洲、豊洲市場や東京テレポートなどを
		結ぶ「東京BRT」の運行に向けて事業
		主体である東京都などの関係機関と連携
		して推進します。
112	沿線バスの拡充を願いする。	既存のバス交通の維持・充実を図りつつ、
		各地域におけるバス交通に関するニーズ
		を踏まえ、東京都と連携し新たな路線の
		検討など、バス交通のさらなる充実を図
		ります。
113	高齢者が自分の力で健康に生き生き	既存のバス交通の維持・充実を図りつつ、
~	と暮らせるまちのためには、コミュニ	各地域におけるバス交通に関するニーズ
115	ティバスは必須である。	を踏まえ、東京都と連携し新たな路線の
	コミュニティバスを豊洲のコースを	検討など、バス交通のさらなる充実を図
	入れてほしい。	ります。
	亀戸から豊洲や有明に行くには、バス	また、高齢者人口の増加に伴い、交通弱
	を乗り継いだり都心に出てから電車	者の増加が予想されることから、区内の
	に乗ったりしなければならない。	地域ニーズを踏まえた福祉有償運送の導
	区内巡回バスがあるといい。	入可能性を検討します。
116	湾岸エリアと都心のアクセス強化に	都心部・臨海地域地下鉄構想の整備につ
	向けて、新地下鉄(有明-銀座エリア	いては、進捗状況に応じて関係機関と連
	間)の検討を進めていただきたい。	携し、推進します。
117	南北の交通がきわめて不便。新しい交	南北交通の充実に向けて、地下鉄8号線
	通システムを考えていただきたい。	の延伸の早期事業化を推進するととも
		に、JR 越中島貨物線を活用した亀戸〜新
		木場間の LRT の導入について、他の自治

No.	要旨	区の考え方(案)
		体の導入事例などを参考に引き続き検討
		します。
118	東陽町駅から有明に地下鉄を通し、バ	南北交通の充実に向けて、地下鉄8号線
	スでも一本で行ける様にしてほしい。	の延伸の早期事業化を推進します。また、
		既存のバス交通の維持・充実を図りつつ、
		各地域におけるバス交通に関するニーズ
		を踏まえ、東京都と連携し新たな路線の
		検討など、バス交通のさらなる充実を図
		ります。
119	南砂町駅周辺、新砂〜豊洲の交通ルー	大規模開発や周辺の土地利用転換などに
	トを充実させてほしい。	合わせて、道路ネットワークが不足する
		区間での道路の新設(構想路線)や改良
		が必要な路線の再整備を関係機関や民間
		と連携し、推進します。
120	豊洲〜東陽町(区役所)や亀戸方面へ	南北交通の充実に向けて、地下鉄8号線
	のアクセスが悪い。地下鉄の整備、都	の延伸の早期事業化を推進します。また、
	営バスの大幅増便による利便性向上	既存のバス交通の維持・充実を図りつつ、
	を求める。	各地域におけるバス交通に関するニーズ
		を踏まえ、東京都と連携し新たな路線の
		検討など、バス交通のさらなる充実を図
		ります。
121	丸八通り沿いの交通の便を強化し、亀	JR 越中島貨物線を活用した亀戸〜新木
~	戸〜南砂の貨物線の旅客化を進めて	場間の LRT の導入について、他の自治体
124	ほしい。	の導入事例などを参考に引き続き検討し
	明治通り(亀戸、西大島、日曹橋)の公	ます。また、既存のバス交通の維持・充
	共交通の強化が必要である。	実を図りつつ、各地域におけるバス交通
	東端地区の南北方向の交通を改善し	に関するニーズを踏まえ、東京都と連携
	てほしい。番所橋通りにバスを通して	し新たな路線の検討など、バス交通のさ
	ほしい。	らなる充実を図ります。
125	東西だけではなく南北方向の交通を	南北交通の充実に向けて、地下鉄8号線
	充実してほしい。	の延伸の早期事業化を推進するととも
		に、JR 越中島貨物線を活用した亀戸〜新
		木場間の LRT の導入について、他の自治
		体の導入事例などを参考に引き続き検討
		します。

No.	要旨	区の考え方(案)
126	南北交通の利便性向上のためには、	JR 越中島貨物線を活用した亀戸〜新木
	LRT やバスでもっときめ細かく安価	場間の LRT の導入について、他の自治体
	に整備すべき	の導入事例などを参考に引き続き検討す
		るとともに、バス交通について、引き続
		き検討します。
127	電車、バスの乗り場において、乗換案	運行事業者と情報共有し改善に努めてま
	内を分かりやすくしてほしい。	いります。
128	自転車の利用環境をより改善してほ	自転車利用環境の向上に向けて、自転車
~	しい。	通行空間ネットワークの形成や自転車駐
131	駐輪場を増やしてほしい(特に駅周	車場の整備・確保に取り組みます。
	辺)。	
	都営新宿線沿線駅(大島、住吉など)	
	の自転車駐輪場増設、屋根の有る自転	
	車駐輪場、幹線道路の自転車道整備、	
	集合住宅でのビジター用駐輪場確保	
	などをお願いする。	
132	主に二車線道路については、一方通行	人中心の道路空間の形成に向けて、生活
	に変更し、一車線は自転車、バギーカ	道路などでの安全な道路環境の形成や地
	一、車椅子等の軽車両専用路にする。	域の実情に応じた道路構造などの再配分
	歩道は歩行者のみにし、自転車との分	や利活用を推進します。
	離を図る。	
133	歩道のバリアフリー化、沿道緑化を進	歩道のバリアフリー化を進めるととも
	める(テーマ 3)。道、通りに全て名	に、道路名等の見やすさを含め利用しや
	前をつけ、それを見やすく表示してほ	すい公共空間の形成を目指します。
	UN.	道路などの快適な緑化空間を保全すると
		ともに、幹線道路等の整備の際には、関
	15/	係機関と連携し、緑化を推進します。
134	歩行者が安心して移動できるまちに	人中心の道路空間の形成に向けて、生活
~	してほしい。	道路などでの安全な道路環境の形成や地
135	歩道の拡幅工事で広がった空間を植	域の実情に応じた道路構造などの再配分
	木に当てすぎず、歩行者の空間を増や	や利活用を推進します。 
126	してほしい。	
136	歩道の自転車通行禁止を徹底ほしい。	関係部署と連携し、自転車利用者のマナー
		一改善に努めます。また、自転車通行空
		間の整備を推進するとともに、関係機関

No.	要旨	区の考え方(案)
		と連携し、国道・都道・区道などが連続
		した自転車通行空間ネットワークを形成
		します。
137	海上交通をより活用してほしい。	水辺を利用した交通ネットワークの形成
		に向けて、舟運の多様な活用を推進しま
		す。
7.	自然や文化、地域資源が織りなす観光・	交流都市(観光・交流部門)について
138	江東区にカジノ施設ができてほしく	カジノ施設の予定はありません。地域内
	ない。「自然や文化、地域資源」を重	外の様々な観光に対応したまちづくりに
	視した都市を目指していただき、ギャ	向けて、身近な歴史文化施設の整備や施
	ンブルによる観光客誘致に傾かない	設をつなぐ観光連携を目指します。
	よう、強く希望する。	
139	地域資源を活用したまちの活性化を	地域資源を活用し、身近な歴史文化施設
	希望する。	の整備や施設をつなぐ観光連携を目指し
		ます。
140	観光都市の強化のため、古い深川/下	観光・交流都市づくりに向けて、身近な
	町のイメージを強調し、外国人(インバ	歴史文化施設の整備や施設をつなぐ観光
	ウンド)に魅力のあるまちづくりを進	連携を目指します。
	めてほしい。	
141	門前仲町、越中島の歴史と文化、水辺	門前仲町、越中島など都市型観光都市を
	を生かした都市型観光都市を目指す	目指して、身近な歴史文化施設の整備や
	必要がある。	施設をつなぐ観光連携など、水辺の観光
		拠点づくりを推進します。
142	   観光促進のための小型バスを運行し	  現在区では「深川シャトル」と「城東シ
172	ではしい。	
		行しています。地域内外の様々な観光に
		対応したまちづくりに向けて、施設をつ
		なぐ観光連携を目指します。
143	   人間の二ーズ、利益のためでなく、生	より豊かな生態系の保全に向けて、ビオ
	き物たち自然と共に生き、生かしあう	トープ(ポケットエコスペース)の充実
	視点を失わない姿勢を維持して欲し	・
	い。 (テーマ3)	ることで、エコロジカルネットワークに
	<u> </u>	

No.	要旨	区の考え方(案)
		配慮した区民・事業者による緑化を検討
		していきます。
144	本物の芸術に触れる場所がない。	芸術分野の施設としては東京都現代美術
		館があります。ニーズを踏まえて、文化・
		観光情報の発信拠点の整備、歴史文化施
		設などの計画的な改修を行います。
8. 8	みんなでつくる美しいまち並みを次世代	に継承する都市(景観部門)について
145	商店街など、古い街の継承にも力を注	地域特性を活かした景観形成に向け、今
	いでほしい。	後特徴のある商店街の景観を活かした街
		並みづくりを検討していきます。
テー	マ横断の意見について	
146	公園、沿道、広場等の植木・雑草等の定	区民が中心となった緑を守り育てる活動
	期的な整備、高齢者・無職の人材活用、	の活性化や、区民が緑に親しめる環境づ
	居場所の提供をお願いする。	くりを推進します。また、地域において
		多世代が利用可能なコミュニティスペー
		スを設置、誘導するなど、人材活用に資
		する場づくりを推進します。
147	新住民との交流・町会の活性化、一時	区民のコミュニティ活動を促進するた
	避難場所の確保、街の計画的な開発の	め、活動の拠点となる空間を形成します。
	促進などをお願いする。	持続可能なにぎわいの創出に向けて、地
		域資源を活かしたエリアマネジメントを
		支援します。
		避難活動や避難生活を支える環境づくり
		に向けて、避難場所・避難所の環境づく
		りを推進します。
148	人口密度をおさえるための規制、子供	人口密度に関して、大規模開発等に対し
	の遊具の拡充、大型遊具の増設、運河	保育所や教育環境など地域の実情やまち
	の活用、住宅土地面積の最低限度を設	づくり方針等に合わせ、面的な規制や誘
	ける規制の実施、公園でのスケートボ	導を図ります。
	ード利用強化とスケートボードパー	遊具に関して、公園の整備・改修や再整
	クの拡充をお願いする。	備などの際には、利用者ニーズに即した
		特色ある公園づくりを推進します。
		住宅土地面積の最低限度については、「良
		好な宅地開発に関する指導要綱」に基づ
		き指導します。

No.	要旨	区の考え方(案)
		運河の活用について、区を取り囲む水辺
		や内部河川・運河と、その周辺を活用し
		た水彩軸を形成します。
		スケートボードに関連し、オリンピック・
		パラリンピックのレガシーと周辺施設を
		横断的に連携させるなど、区内外の人が
		健康増進やスポーツに親しめる場を整備
		し、スポーツ施設を中心としたまちづく
		りを推進します。
149	SDGs の各項目を江東区都市計画マス	SDGs の目標と関連する取組をテーマ別
	タープランの中の各テーマに落とし	まちづくり方針に紐づけ、目標達成に貢
	込むような検討があってもいい。誰一	献する取組を展開します。
	人取り残さないための検討をお願い	
	したい。	
第4章	章 地区別まちづくり方針	
深川	比部地区について	
150	魅力や課題のスポットについて、「清	ご指摘の通りに修正します。
	洲寮」が正しいため、訂正してほしい。	
151	清澄白河では、景観の改善や交通整備	地域資源を活用し、歴史と文化、アート
	を通し、カフェ誘致など進めていただ	や水辺と緑を活かした景観づくり、リノ
	きたい。	ベーションなど、憩い空間となるサード
		プレイス(カフェ等を含む)が立地し回
		遊性と魅力を高めるまちづくりを目指し
		ます。
152	住吉の活気のなさ雑然とした、何の特	住吉都市核については、区内外から多く
~	色もない停滞感を強く感じる。地下鉄	の人が訪れる魅力的な拠点の形成を目指
153	が開通(延長)されるだけで、拠点と	し、駅周辺を中心に商業・生活利便機能
	しての街の美しさや特色、利便性、機	等の充実を図ります。カフェについては、
	能が本当に向上するのか。	今後、関係部署と連携して検討していき
	住吉地区にもっと光を当ててほしい。	ます。
	住吉の駅前および駅中に休憩できる	
	カフェがない	

No.	要自	区の考え方(案)
154	資料館通り一現代美術館・木場公園一	個性豊かなカフェと公園を連続的につな
	美術館通り、この商店街のルートを	ぐ街路樹を活かした快適な歩道空間を形
	人々が楽しく回遊し、気持ちよく散歩	成するなど、回遊性の高いまちづくりを
	一できる道として、重点的に整備すると	目指します。
	深川北地区の活性化につながる。新駅	新駅の名称については、事業主体によっ
	の名称を「深川美術館通り駅」とすれ	て決定されますが、区としても地域住民
	ば、現代美術館へ行く区外の観光客に	の方の声を伝える方法について検討しま
	も、そのルートが認知される。	す。
深川	南部地区について	
155	回遊性を高めるまちづくりのために	越中島については、門前仲町・越中島都
$\sim$	も、越中島の魅力を高めることができ	市核として深川地域を主導する拠点の形
156	る再開発を期待します。	成を目指し、沿道空間のにぎわいの創出
	越中島駅がいまいち活用できていな	や、水辺空間の親水性を活用するなど、
	い。門前仲町や豊洲とメトロでつなが	区内外の人を惹きつける商業・業務・交
	ると、かなり活性化できると思う。越	流機能の充実を図ります。
	中島をもっとアピールしてほしい。	
157	東陽町には子どもが放課後のびのび	公園の整備・改修や再整備などの際には、
	と遊べる公園が乏しい。公園はある	利用者ニーズに即した特色ある公園づく
	が、禁止事が多い。校庭を開放してい	りや、適切な維持管理を行います。
	る地域もあるので参考にしてほしい。	
城東	北部地区について	
158	亀戸梅屋敷は、より区民のために役立	亀戸梅屋敷をはじめ、既存施設を活かし、
	つ施設として活用してほしい(例え	都市機能のバランスの観点から公共機能
	ば、防災センター、図書館など)	の統合・再配置を進めるなど、回遊性の
		高い都市の形成を目指します。
159	コロナ禍に入ってから明らかに亀戸	観光・交流都市づくりに向けて、亀戸天
	の(主に亀戸天神)の観光客数が増加し	神社をはじめとした歴史・文化資源を活
	ている。税収増加につなげることがで	用し、隣接する区の錦糸町、東京スカイ
	きるといい。亀戸駅前の公園整備も必	ツリーなどと連携しながら、回遊性の高
	要。	いまちづくりを目指します。
		公園の整備・改修や再整備については、
		利用者ニーズに即した特色ある公園づく
		りや、適切な維持管理を行います。

No.	要旨	区の考え方(案)
160	老朽化した京葉道路と明治通りが交	横断歩道橋の管理者である国道管理事務
	   差する高架式横断橋は高齢者や子ど	所へ情報提供致します。
	   ものために、トンネル化や地下連絡道	亀戸駅周辺の混雑緩和、利便性の向上に
	の新設を提案する。	向けて、立体的にオープンスペースを整
	亀戸駅前の交通基盤整備は必要で立	備するなど、快適に滞留、交流できるま
	体交通広場を新設し、さらに併設する	ちづくりを目指します。
	商業施設の再構築は喫緊の要請であ	
	る。	
161	亀戸天神東門通りのライフラインと	江東区無電柱化計画に基づき、段階的に
	電柱の地中化を要望する。	無電柱化を推進します。
162	亀戸駅の自転車駐輪場が多すぎる。自	適正な自転車駐車場の立地に努めます。
	転車置場の立地に区民の図書館、いこ	公共施設については、長期的な視点から
	いの場所をつくってほしい。	統廃合などを計画的に推進します。
163	西大島駅は駅前に店も多く明治通り	生活利便性の高い地域に根差した拠点の
$\sim$	を中心に栄えている。東大島駅は緑	形成を目指し、新大橋通り沿いを中心に、
164	(公園)が多くのびのびとした暮らし	都市機能の更新などを契機として、地域
	に最適で、子育てにもとても良い環	住民が交流でき、防災にも資するオープ
	境。一方、大島駅付近は急行が停まる	ンスペースの創出や、生活道路の改善な
	駅にもかかわらず、寂しい印象であ	どの都市機能を誘導します。
	る。人が集まるような施設、飲食店、	
	ショッピングモールなどを活かした	
	まちづくりを希望する。	
	大島地区についても、ユニークなカラ	
	ーを活かし、積極的に攻めていくプラ 	
	ンを求める。	
165	大島は人口に比べてインフラが整っ	生活道路などでの安全な道路環境の形成
	ておらず、道路脇の緑化も少ない。き	を推進します。水辺(護岸)を活用した
	れいなまちづくり歩きやすい歩道を	生活動線の整備や緑化を、東京都と連携
166	希望する。	し快適なまちづくりを進めています。
166	グランチャ東雲のような施設を城東   地区にもつくってほしい。例えば、大	既存の公共施設や公共用地の立地を活か     し、災害時に住民が一時避難できる施設
167	島 9 丁目の空地が 20 年以上前から公	し、火害時に住民が一時避難できる心設     を整備、拡充するなど、城東地域の広域
10/	園になるといわれているが、活用して	を整備、拡光するなど、城条地域の広域   的かつ総合的な防災拠点の形成を目指し
	はしい。	はない。
	16000	O 7 0

No.	要旨	区の考え方(案)
	豊洲方面ばかりが整備されて、大島方	
	面は置き去り。大島が陽の目を浴びる	
	ことはほとんどない。	
168	江東区の東部地域を南北に貫く交通	JR 越中島貨物線を活用した亀戸〜新木
	がほしい。例えば、亀戸から大島、砂	場間の LRT の導入について、他の自治体
	町を通る明治通りの地下に電車を通	の導入事例などを参考に引き続き検討し
	してもらいたい。北十間川、横十間川	ます。
	の地域に親水公園的な空間を作って	公園の整備・改修や再整備については、
	もらいたい。亀戸、大島、砂町地域の	利用者ニーズに即した特色ある公園づく
	美的空間づくりにも力を入れてほし	りや、適切な維持管理を行います。
	UN.	景観についは、地域ごとの特徴である寺
		町、堀割、水辺、下町の雰囲気などを含
		めた景観資源を活かしたまち並みづくり
		を推進します。
城東	南部地区について	
169	新エリアがきれいになっていく一方、	地域生活を支える商店街、歴史文化資源
	砂町エリアは、ないがしろにされてい	及び身近な水辺と緑を活かし、にぎわい
	る。歩道がぼこぼこしているし、草も	と活力のある複合市街地の形成を目指し
	生え放題。バイクの音もうるさい。区	ます。
	できちんと規制してほしい。	道路インフラについては、着実な維持管
		理・更新を推進します。
170	未開発の南砂町駅周辺の開発計画は	南砂都市核の拠点の方針に基づき、関係
	誰が作成するのか。住む人が出した方	機関等と連携しながら検討していきま
	針は誰が納得するのか。	す。
171	住民の憩いの場、健康推進による医療	南砂都市核の拠点の方針に基づき、事業
	費軽減のためにも、南砂町にスーパー	者等と連携しながら今後検討していきま
	銭湯、温泉の可能性があれば、温泉施	す。
	設を誘致してほしい。	
南部地	地区西について	
172	豊洲は人口が増加しているにもかか	臨海部の玄関口として持続的に発展する
	わらず、郵便局、銀行などのサービス	拠点を目指し、商業・業務・居住・教育・
	施設が不足している。また、老人介護	研究・行政などの多様な都市機能の充実、
	施設(特養等)など、高齢者が入所で	更新を図ります。高齢者が入所できる施
	きる施設やセカンドオピニオンの充	設やセカンドオピニオンの充実について
	実も計画に入れてほしい。	

No.	要旨	区の考え方(案)
		は、今後、関係部署と連携して検討して
		いきます。
173	震災時に避難できるエリアも少ない	防災拠点として利用できる公園等の整備
	ため、豊洲保育園の仮社屋の跡地を待	を東京都や事業者と連携して計画的に推
	避しやすく見通しの良い場として活	進します。
	用できるよう、公園や通り抜けの出来	
	る低層の施設などを検討してほしい。	
174	「有明親水海浜公園 西入江に砂浜	整備主体の東京都に情報共有いたしま
	(約0.2km)整備予定」は変更ないか。	す。
	砂浜の計画の方針に関しても計画に	
	記述してほしい。	
175	有明に子供のための児童館と図書館	長期的な視点から公共施設の統廃合など
	が必要。また、遊具のある公園が現在	を計画的に推進します。
	期間限定のスポーツセンター前にし	公園の整備・改修や再整備については、
	かないため、恒久的に使えるようにし	利用者ニーズに即した特色ある公園づく
	てほしい。できれば公園をきちんと整	りや、適切な維持管理を行います。
	備してほしい。	
176	有明は、オリパラでセメントの駐車場	有明北地区では、大会レガシーと水辺空
	ばかりの緑や林の少ない殺伐とした	間の魅力を生かした大規模な公園緑地と
	エリアになっているため、美しい緑と	して有明親水海浜公園の整備を東京都が
	木々の公園を作ることでこの地が新	計画しています。
	しい街となってほしい	
177	臨海副都心有明北地区は小学生・中学	教育等の多様な都市機能誘導を促進しま
	生の為の私設教育施設が不足してい	す。
	るため、建物新設及び塾や習い事教室	湾岸道路の管理者である国道管理事務所
	の誘致をお願いする。また、大型商業	へ情報提供致します。
	施設やマンションを新規で誘致成功	
	しているのに、大型トラック等の交通	
	量を加味した道路整備がなされてい	
	ない。シティタワーズ東京ベイマンシ	
	ョン側の歩道と国道 357 東京湾岸道	
	路の境が、低いガードレールのみなの	
	で、危険です。	

No.	要旨	区の考え方(案)
178	有明では、オリンピックのレガシーを	誰もがスポーツを楽しめる環境づくり
170	活かし、SDGs を象徴するサスティナ	や、スポーツを中心としたにぎわい創出
	ブルなスポーツと健康促進、地域環境	を目指し、オリンピック・パラリンピッ
	保護エリアとしていただきたい。具体	クのレガシーの活用など有明レガシーエ
	的にはアリーナ競技場等を維持・活	リアのまちづくりについて、積極的に東
	用、アーバンスポーツパークはスケー	京都と協議、調整してまいります。
	トボード、自転車競技の練習場、若者	
	   の集まる場所として再生など。	
南部	地区東について	
179	平成 20 年潮見地区まちづくり方針に	地下鉄8号線の延伸などの時代の変化に
	おいて、潮見2丁目内に小学校を建設	伴い、方針の見直しが必要になってきた
	する計画があったにもかかわらず、実	ことから、新たなまちづくり方針の策定
	現される気配がありません。小学校の	に向け、検討する予定です。
	建設をマスタープランに位置付けて、	
	早期実現に向けて取り組んでいただ	
	きたいです。	
180	潮見1丁目の都有地について、暫定的	都有地を含む低未利用地の土地利用転換
	な有効活用を図っていただきたい。栽	を契機として、駅周辺では新たな都市空
	培指導付き区民農園、常設型プレイパ	間を創出し、業務・商業・生活利便・交
	ークを提案する。	流などの機能を誘導します。
		区民農園、常設型プレイパークについて
		は、東京都へ情報共有致します。
181	潮見地区に枝川にあるような図書サ	駅周辺では新たな都市空間を創出し、業
	ービスが必要。	務・商業・生活利便・交流などの機能を
		誘導します。
182	豊洲と潮見の両方に近く、都バスも通	地下鉄8号線の延伸による新駅の設置に
	り地下鉄8号線も通る可能性がある枝	伴う土地利用転換を見据え、新たなにぎ
	川の再開発を求む。	わいのあるまちの形成を目指します。
183	塩浜エリアの運河沿いの水辺環境を	東京湾や隅田川など区を取り囲む水辺
	もっと良くしてほしい。	や、縦横に流れる内部河川・運河と、そ
		の周辺を活用し、東京都と連携して潮風
		の散歩道を整備するなど水彩軸を形成し
		ます。

No.	要旨	区の考え方(案)
184	東雲や辰巳は人口が多いにもかかわ	東雲では、新たな都市空間を創出し、業
	らず駅前が発展していない。スポーツ	務・商業・生活利便・交流などの機能を
	施設にも商業施設にも臨接させるな	誘導します。
	ど人が集まる工夫をして、魅力的なま	辰巳では、駅周辺を中心に、交流機能や
	ちづくり進めてほしい。	利便施設、公共施設等の都市機能をバラ
		ンス良く誘導します。
185	辰巳駅周辺に、飲食店、ドラッグスト	駅周辺を中心に、交流機能や利便施設、
	ア、コンビニなどの商業施設を誘致し	公共施設等のバランスのとれた都市機能
	てほしい。	を誘導します。
湾岸均	也区について	
186	P215の [拠点方針] [新木場・夢の島	新木場・夢の島広域核の拠点の方針に基
	広域核] 内1行目記載「産業拠点を目	づき、左記の内容について、引き続き関
	指し」については、現在新木場エリア	係機関、事業者等と連携しながら検討し
	で、ライフサイエンス等の新産業の立	ていきます。
	地が見られることに鑑み、「現在見ら	
	れるライフサイエンス・新世代物流施	
	設のような、その時代のニーズに応じ	
	た新産業の拠点化を目指し」への修正	
	のご検討をお願いする。	
187	P15 [拠点形成の方針] [新木場・夢の	新木場・夢の島広域核の拠点の方針に基
	島「ポテンシャルの高さを活かした産	づき、左記の内容について、引き続き関
	業都市」]内2行目記載およびP40[湾	係機関、事業者等と連携しながら検討し
	岸地区] [新木場・夢の島] 内 2 行目	ていきます。
	記載の「内水面の再生」、さらに P215	
	[拠点の方針] [新木場・夢の島広域	
	核]内7行目記載「水面の新たな活用」	
	については、「内水面の在り方を含め、	
	貯水場として利用されていた水面の	
	新たな活用・再生についてその方向性	
	を検討」への修正のご検討をお願いす	
	る。	

No.	要旨	区の考え方(案)
188	P216の[環境]の項目に、上記【新木	新木場・夢の島広域核の拠点の方針に基
	場におけるまちづくりのコンセプト】	づき、左記の内容について、引き続き関
	に記載した通り「木の伝統文化から発	係機関、事業者等と連携しながら検討し
	展する資源循環の先進技術の促進を	ていきます。
	図ります」の追加のご検討をお願いす	
	る。	
189	P217 の [道路・交通] の項目に、新木	新木場・夢の島広域核の拠点の方針に基
	場駅は3線が乗り入れ利便性は高いも	づき、左記の内容について、引き続き関
	のの、駅周辺利便施設については十分	係機関、事業者等と連携しながら検討し
	な集積があるとは言えず、また本協議	ていきます。
	会対象エリアだけでも 130ha と広大	
	であることから、「新木場駅周辺利便	
	施設の整備拡充」「自動運転を含めた	
	新たな域内交通の導入の検討」の追加	
	のご検討をお願いする。	
190	湾岸地区(海の森、若洲、青海付近)	スポーツとレクリエーションの交流拠点
	に大型宿泊施設の設置を望む。	を目指し、にぎわいや交流の創出を目指
		します。
191	明治通りの新砂一~二丁目の沿道が	令和 2 年に策定した新砂二・三丁目地区
	業務一辺倒なので、違うビジョンをお	まちづくり方針の目標に基づき、水辺と
	願いする。	緑などについてもまちづくりを推進しま
		す。
第5章	章 計画の実現に向けて	
192	新木場・辰巳三丁目地区地権者協議会	今後、新木場・辰巳三丁目地区地権者協
	は、引き続き区との協議を希望する。	議会とも連携しながら、基盤整備や新た
		な都市機能の誘導を推進していきます。
計画:	全般に関する意見	
193	「5 つの目指すべきまちの姿」と「重	都市計画マスタープランでは、5 つの「目
	点戦略」「テーマ別まちづくりの取り	指すべきまちの姿」と「テーマ別まちづ
	組み」が紐付いていないと感じます。	くり方針」との対応は、3 章の冒頭に関
	対案として「5 つの目指す姿」→「重	係を記載しています。また、改定の視点
	点戦略」→「テーマ別の取り組み」が	(特色)に、「重点戦略」と「軸」・「ゾ
	わかりやすく可視化できると良いし、	ーン」・「拠点」の方針について整理し
	共感を得やすい。また、「重点戦略 3」	ています。

No.	要旨	区の考え方(案)
194	「テーマ 1 緊急時にも適時的確に対応」についてリアクティブな対応だけでなく、プロアクティブ(発生時に出る対策)を具体的に示していただきたい。 国土交通省荒川下流河川事務所のホ	災害発生時の具体的な対策は、「江東区 地域防災計画」や「江東区国土強靭化地 域計画」で示しています。 引き続き、国が示す「災害に強い首都『東
	ームページに明示されている「荒川氾濫」避難は 250 万人想定の対策案になっていない。浸水対応型のまちづくりについて、地域ごとの住民と行政、大学等の専門家の話し合いを積み上げた具体的なものを要請する。地震・雷・火事・水害に加えるべき新しい災害「マイナス地域災害」であることを十分に把握し、対応してほしい。	京』形成ビジョン」を踏まえ、関係機関等と連携をとりながら、「浸水対応型の建築物の整備」や、それを広げていく「浸水対応型のまちづくり」を促進します。
195	江東区の大きな課題は、縦方向の電車 路線の欠落、荒川氾濫対策、福祉政策 である。	南北交通の充実に向けて、地下鉄8号線の延伸の早期事業化を推進します。荒川 氾濫対策として、防潮堤や護岸施設など 強靭な基盤整備を推進します。福祉政策 の一環としてコミュニティ活動を支える 環境整備を推進します。
196	子供、老人、障害者に優しいまち作り (ソフトとハードを共)を、部署ごと に検討するのではなく、役所全体で考 えてほしい。(環境、災害、交通、人、 スポーツ、テクノロジー)	関係部署が横断的にテーマ別まちづくりを推進します。
197	生活環境を取り戻せるような、そして、安全・安心・便利が担保されるまちづくりをお願いしたい。是非、このマスタープランを見て読んで、多くの若者が居住し、多くの子供が育まれる、日本一のまちづくりをお願いしたい。	持続的に発展する共生都市に向け、都市 計画マスタープランに基づき、まちづく りを推進します。
198	街づくりとそこに住む人の気持ちの 一体化、魅力的な街と人づくりをする のに何が必要か考えるべき。	地域主体が主体となって取り組むエリア まちづくりを、地域住民等と連携して推 進します。

No.	要旨	区の考え方(案)
199	江東区と言えば〇〇のようにインパ	都市計画マスタープランでは、3つの「重
~	クト・キーワード重視で簡潔にまとめ	点戦略」や5つの「目指すべきまちの姿」
200	て欲しい。一番やりたいことは何なの	などを、改定の視点(特色)として記載
	か。やりたいことが沢山あるとして	しています。
	も、三つ位にまとめられないのか。	
	色々やりすぎて、且つ抽象的でピンと	
	来るワクワク感もない。一点集中で行	
	った方が分かりやすい。	
201	災害の対策と文化スポーツの発展、利	災害、文化、スポーチ、利便性など、5つ
	便性の向上のテーマについて特に期	の「目指すべきまちの姿」の実現を目指
	待する。	します。
202	他区の都市計画マスタープランとの	都市計画マスタープランでは、3つの「重
	差別化を図りたい。地下鉄8号線の路	点戦略」や5つの「目指すべきまちの姿」
	線は泉岳寺⇔西馬込のようにならな	などを、改定の視点(特色)として記載
	いか。都内 22 区の都市計画の内容を	しており、今回の特色となっています。
	真似するのはやめてほしい。	
203	一貫した方針がわかりにくい。特に拠	大きくは5つのゾーンでそれぞれの特徴
	点の方針(都市核)が9つもある上に	を示した上で、拠点の方針を記載してい
	「水辺」や「回遊性」といったキーワ	ます。
	ードが重複しているのは冗長ではな	テーマ別まちづくり方針に基づき、ダイ
	いか。3、4 エリア程度に分けて差別化	バーシティ(多様性)社会に向けた住環
	を計るべき。将来性についても、人口	境づくり、高齢者・障害者向け施設の整
	動態の変化やマイノリティへの配慮	備を推進します。
	への言及がない。	
204	今ある建物や施設の中で一番使われ	公共施設の更新・長寿命化・統廃合を計
	ていないものを壊し、整備を整えるま	画的に推進します。
	ちづくりをすべき。	
その	也	
205	臨海部に小学生から高齢者までが一	レガシー施設としてゴルフ関係は区内に
	緒に楽しめる施設として、ゴルフドラ	なく、有明レガシーエリアにゴルフ施設
	イビングレンジ、ショートホールをつ	ができる予定は現在ありません。
	くってほしい。	

No.	要旨	区の考え方(案)
206	臨海部に「長期滞在型宿泊エンターテ	スポーツやレクリエーションなど多様な
	インメント集積地」を形成し、国内外	アクティビティが展開される市街地の形
	から観光客を呼び込む「東京の新観光	成、新たな観光拠点の整備を推進します。
	スポット」を造営する。	
207	JR 新木場駅の朝、夕の通勤時間帯の混	臨海部のアクセス性や回遊性を向上さ
	雑解消対策のとして、新木場、夢の島、	せ、区全体の活性化につなげるため、地
	若洲、海の森、青海のどこかを住宅地	下鉄8号線の延伸をはじめとする新たな
	とすることや、オリンピックに関連す	交通網の充実による湾岸軸の強化に向け
	る施設などを結ぶ路面電車(LRT)整	た検討、取組を推進します。
	備の検討をお願いしたい。	
208	区内に火葬場、斎場をつくってほし	現在、予定はありません。
	UN.	
209	住吉にカフェがたくさんできるとい	地下鉄8号線延伸による利便性の高い都
	UN.	市を目指し、駅周辺を中心にカフェ等を
		含む商業・生活利便機能等の充実を図り
		ます。
210	釣り堀を続けてほしい。	豊住・砂町両魚釣場につきましては、利
		用料金の安い工業用水道を利用し運営し
		てまいりましたが、令和4年度末で工業
		用水道が廃止となる等、今後の存続が厳
		しく、令和 4 年 12 月 28 日をもって閉
		鎖することといたしました。
211	発災後、避難所の運営スタッフ不足が	「運営ボックス」や「社会貢献について
	考えられるため、誰でもスタッフとし	基礎から学べる受講の体制」について、
	て行動が出来るよう、避難されて来ら	今後、関係部署と連携しながら検討を進
	れた方々にお手伝い頂けるよう、わか	めていきます。
	りやすく物品などを収納しておく「運	
	営ボックス」を提案する。また、社会	
	貢献について基礎から学べる受講の	
	体制を区として設けてほしい。	
212	ブロック塀の劣化、コンクリート製の	ブロック塀の劣化、コンクリート製の仏
	仏像等の放置などにより危険な場所	像等の放置などについて、関係部署と連
	がある。早急に改善をお願いする。	携して、適正に指導していきます。

No.	要旨	区の考え方(案)
213	木場公園の防災性向上のため、仮設住	備蓄・輸送体制が充実した避難場所・避
	宅設置場所や備蓄場所等の活用方法	難所の強化を東京都などと連携して推進
	が必要。	します。
214	隅田川沿いのマンションに、冬~春に	簡易的なウミネコ防除網の設置方法を周
	かけウミネコが大量に生息します。区	知するなど、ウミネコ被害の防止につい
	一で何か対策してほしい。	て周知をしています。今後も、ウミネコ
		被害の対策について検討をします。
215	ゴミの減量、資源化、資源の循環への	区民・事業者がごみの減量、資源化、資
	意識を高める手段として、既存の方法	源の循環への意識を一層高められるよ
	のみならず、使われなくなった物を使	う、関係部署と連携して周知啓発を進め   
	った製品、作品のコンテストを区主催	ていきます。
	で行ったり、展示会の開催や区施設に	
	常設する等を提案したりする。リユー	
	ス商品の開発、販売を区で支援する。	
216	水辺に SUP 着水場と素敵な飲食店を	スポーツに親しむ環境整備を推進しま
	作ってほしい。	す。SUP につきましては、今後、関係部
		署と連携して検討していきます。
217	江東区らしい親しみやすい公園とし	コトミちゃんのパネルにつきましては、
	て、公園毎に異なるコトミちゃんのパ	今後、関係部署と連携して検討していき
	ネル(公園名、利用案内板等)を設置し、	ます。
	色々なコトミちゃんを楽しむことが	
	できて公園巡りにも繋がる。また、他	
	区他地域との差別化や江東区が管理	
	する公園という意識がもたらされ、防	
	犯効果にも繋がる。	
218	町会・自治会とコミュニティ拠点の連	
	携について、対面でのコミュニケーシ	関係部署と連携して検討していきます。
	ョンが難しい中での情報共有方法に	
	ついて模索してほしい。	
219	マウンテンバイクパークをつくって	マウンテンバイクパークにつきまして
	ほしい。	は、今後、関係部署と連携して検討して
		いきます。

No.	要旨	区の考え方(案)
220	屋外バスケットボールコートの増設	屋外バスケットボールコートにつきまし
~	を希望する。	ては、今後、関係部署と連携して検討し
221	豊住公園のバスケットコートを復活、	ていきます。
	整備して多くの子供たちが楽しめる	
	ようにしてほしい。	
222	東京都のグリーンボンド債の予算を	グリーンボンド債の活用などにつきまし
	活用し、自転車歩道整備を進めるとと	ては、今後、関係部署と連携して検討し
	もに、江東区臨海部の線を増やしてほ	ていきます。
	しい。	
223	都営新宿線住吉駅を、急行停車駅にし	東京都へ情報共有致します。
	てほしい。	
224	メトロ東西線、南砂町駅の快速着を希	東京メトロへ情報共有致します。
	望する。	
225	JR 両国から錦糸町は遠く、清澄白河か	地下鉄8号線の延伸については、本年1
	ら住吉も遠いため、地下鉄8号線を三	月に、経由地を「豊洲〜東陽町〜住吉」
	ツ目通りに通してはどうか。	とした事業許可申請を行ったことが東京
		メトロより公表されました。
226	有明方面に大江戸線の延長をお願い	東京都へ情報共有致します。
	する。また、豊洲市場を一般にも開放	
	したらどうか。	
227	地下鉄8号線の亀戸までの延伸を希望	地下鉄8号線の住吉以北への延伸につい
	する。	ては、平成 28 年の国の交通政策審議会
		答申において、押上〜野田市間の整備が
		「地域の成長に応じた鉄道ネットワーク
		の充実に資するプロジェクト」に位置付
		けられています。
228	昭和大学江東豊洲病院を核とした地	実証特区や商店街活性化については、今
	域医療連携の実証特区(感染症対策、	後、関係部署と連携しながら検討を進め
	災害時医療システムの構築など)や商	ていきます。
	店街活性化対策(防災対策を兼ねた)   たまままる	
220	を提案する。	地工st 0 早始のエエ/曲/ニ ト フ 並テロ スーロ.空ナ
229	8号線延伸区間の新駅、ST3の北端は	地下鉄 8 号線の延伸による新駅の設置を
	半蔵門線との結節点(扇橋二丁目交差	見据え、駅周辺を中心に商業・生活利便
	点付近) を想定し、小松橋出張所への	機能を充実させることなどにより、新駅     (CT2) 国況のませづくりた### まま
	アクセス向上による区民サービスの	(ST3)周辺のまちづくりを推進します。

No.	要旨	区の考え方(案)
	利便性向上を志向したまちづくりを	
	検討してほしい。	
230	森下駅にエスカレーター、エレベータ	関係機関と連携し、バリアフリー化の推
	-の導入をお願いしたい。高速道路の	進に努めてまいります。橋の建設に関し
	下あたり(新大橋と両国橋の間くら	ては東京都へ情報提供致します。
	い)に橋を建設してほしい。	
231	住吉周辺において、トラック等の休憩	車中心から人中心の交通環境づくりのた
	場所の確保、車道・歩道・自転車道の	めに、物流機能に配慮しつつ、歩道拡幅、
	拡充をお願いする。	歩道設置など、地域の実情に応じた道路
		構造を検討し、交通管理者と連携して道
		路整備を推進します。
232	庁舎建て替えに際しては、有楽町線東	庁舎建て替えや出張所の整備につきまし
	陽町駅の出口が新庁舎直結となるよ	ては、今後、関係部署と連携して検討し
	うに整備してほしい。あるいは、駅前	ていきます。
	に公共サービスの出張所を整備して	
	ほしい。	
233	区役所周辺の電線地中化も進めてほ	江東区無電柱化推進計画に基づき、段階
	しい。また、鳥害を改善してほしい。	的に道路の無電柱化を推進します。
		鳥害について、今後、関係部署と連携し
		て検討していきます。
234	木場駅は、都心へのアクセスが良い。	利活用が可能な空き家については、セミ
	また、人口が減って空き家問題が本格	ナーや相談会の開催等によって、知識の
	化するので、その空き家をリフォーム	習得や意識向上を支援します。
	や建替えをして木場駅周辺に民泊専	
	用アパートにする。	
235	亀戸駅前公園のベンチをリニューア	ベンチのリニューアルについては、今後、
	ルしてほしい。	関係部署と連携しながら検討を進めてい
		きます。
236	丸八橋は歩道が狭い、道がでこぼこ、	丸八橋の管理者である東京都へ情報提供
	傾斜が深いため、進開橋のように広	致します。
	く、なだらかな橋への改修をお願いし	
	たい。	

No.	要旨	区の考え方(案)
237	亀戸駅の東口は改札に駅員がいなく	鉄道事業者の経営に関わる事項でありま
	狭いため、不便である。今後マンショ	すが、内容を情報共有いたします。
	ン建設等により、人が増えるため、改	
	良してほしい。	
238	大島緑道公園は、街灯はあるのです	道路を含む公共空間の防犯対策を推進す
	が、周りは暗く、歩行者がよく見えな	るとともに、安全性の向上を図ります。
	い。進開橋も暗いため、欄干などにラ	
	イトを設置するなどの対策をしてほ	
	しい。	
239	京葉道路 (国道 14号) と JR 総武線に	幹線道路等の整備を、国や東京都、事業
	挟まれた道は幅員も狭く、火器を扱う	者と連携して計画的に推進します。
	飲食店舗も多いため、大規模の地震が	
	仮に起こった場合、緊急車両の通過が	
	困難になる。道路拡幅など早急な対応	
	をお願いする。	
240	亀戸九丁目交差点は、事故が多々あり	歩行者が安全に通行できるよう、関係機
	危ない。歩車分離にする等対策をお願	関と連携して安全な道路環境を形成しま
	いする。	す。
241	北砂、大島地区の中規模医療施設の整	長期的な視点から公共施設について更
	備を希望する。	新・長寿命化・統廃合などを計画的に推
		進します。
242	京葉道路について、亀戸駅東口から江	京葉道路の管理者である国道管理事務所
	戸川区との境界方面は自転車専用道	へ情報提供致します。
	がなく困る。歩道が狭い箇所があった	
	り、歩きスマホしている人がたくさん	
	いたり、デイサービスに行く老人の介	
	護者とぶつかりそうになったり危険	
	だらけ。更に亀戸7丁目バス停の前は	
	道路がかんぼつしている。	
243	南砂、千石のへら鮒つり場を無くさな	豊住・砂町両魚釣場につきましては、利
	いでほしい。	用料金の安い工業用水道を利用し運営し
		てまいりましたが、令和4年度末で工業
		用水道が廃止となる等、今後の存続が厳
		しく、令和 4 年 12 月 28 日をもって閉
		鎖することといたしました。

No.	要旨	区の考え方(案)
244	仙台堀川公園にドッグランをつくっ	現時点では、周辺環境に与える影響や課
	てほしい。	題が多いことから区によるドッグランの
		整備は困難であると考えております。
245	青海にある観覧車を新豊洲に移転す	観覧車やチームラボの施設につきまして
	ることを望む。チームラボの施設を新	は、今後、関係部署と連携しながら検討
	豊洲に恒久的な施設として残し、町の	を進めていきます。
	にぎわいを持続させてほしい。	
246	シンボルプロムナードやぐるり公園	緑陰形成など自然環境に対応した都市づ
	は、日差しをしのげる場所や木々が増	くりを推進します。
	えると賑わいも増すのではないか。	
247	アーバンスポーツパークに期待して	誰もがスポーツを楽しめる環境づくり
	いる。治安に不安があるため、交番や	や、スポーツを中心としたにぎわい創出
	図書館などの公共・文化設備とセット	を目指し、オリンピック・パラリンピッ
	で整備されるとよい。	クのレガシーの活用など有明レガシーエ
		リアのまちづくりについて、積極的に東
		京都と協議、調整してまいります。
248	テニスの森の緑が改修前に比べ減っ	江東区みどりの条例に基づき緑化指導を
	た。クラブハウスの屋上・壁面緑化な	行っており、基準以上の緑化が計画され
	どで少しでも増えることを期待する。	ております。
249	イオン東雲前の歩道橋の揺れがすご	歩道橋の管理者である東京都へ情報提供
	く、歩いているとき子供が転びそうに	致します。
	なる。安全面でも不安があるため、改	
	善してほしい。	
250	ST1 駅をアクアティクスセンターに	本年1月に、東京メトロが国土交通大臣
	してはどうか。将来的にそこから南下	に対して鉄道事業許可を申請しており、
	して若洲や海の森へ延伸していくと	新駅 (ST1) については、当該申請に基づ
	スポーツと自然を中心とした南北軸	く場所に設置されるものと認識していま
	が構築されるのではないだろうか。そ	す。
	の核が東陽となる点もバランスが良	
	さそう。	
251	枝川 1 丁目、豊洲 4 丁目、辰巳 1 丁	快適な道路ネットワークを確保するた
~	目、東雲1丁目を結ぶクローバー橋の	め、橋の整備及び橋梁を含め老朽化した
252	整備が必要。	道路インフラの長寿命化修繕を計画的に
		推進します。

No.	要旨	区の考え方(案)
	枝川 1 丁目から豊洲に行くためには、 大まわりをしなくてはいけないため、	
	橋をつくってほしい。	
253	豊洲、東雲、東陽町等は歩道の舗装に 比べ、塩浜2丁目、枝川の辺りは歩道 を含め老化、劣化が顕著である。 塩浜周辺の三ツ目通りに面した道路 (歩道)が舗装される予定を教えてほし い。	快適な道路ネットワークを確保するため、橋梁を含め老朽化した道路インフラの長寿命化修繕を計画的に推進します。 三ツ目通りの管理者である東京都へ情報 提供致します。
254	海の森にゴルフ場を作ってほしい。	海の森では、屋外スポーツやレジャーの 拠点として若洲海浜公園と海の森公園と の連続性を活かし、都心近傍で豊かな自 然を感じられるパークエリアを目指しま す。
255 ~ 256	区内全域路上喫煙禁止にしてほしい。 喫煙の全面的なルールを設けて徹底 してほしい。 歩行喫煙禁止や公園での喫煙禁止を 徹底してほしい。 今後喫煙ブースを設けていく場合に は、ブース内で吸うよう徹底してほし い。 区内全域路上禁煙にしてほしい。	区では、平成 21 年 7 月 1 日に「江東区歩行喫煙等の防止に関する条例」を施行し、「禁煙重点地区」おける指定時間内の路上喫煙(立ち止まっての喫煙)を禁止としております。この「禁煙重点地区」を中心に、歩行喫煙等禁止パトロール指導員が区内全駅周辺を巡回し、違反行為の是正・中止を指導するとともに、それ以外の路上喫煙については、喫煙マナーの徹底など啓発活動の充実に努めていきます。江東区立都市公園条例を改正し、令和 4 年 1 月 1 日から区立公園を禁煙としました。パトロールを実施し、徹底に
257	区内公園で全面禁煙により、運河、湾 岸に喫煙者が出没している。駅(電車 バス)や民間企業と協力、公衆電話、 トイレなどに喫煙場所を増設してほ しい。	努めています。 喫煙場所につきましては、今後、関係部 署と連携しながら検討を進めていきま す。
258	ごみのポイ捨て対策など、まちの美化 に力を入れるべき。	清潔で快適な生活環境づくりのために、 ゴミのポイ捨て禁止や喫煙マナーの徹底

No.	要旨	区の考え方(案)
		などの啓発活動の充実に努めていきま
		す。「江東区みんなでまちをきれいにす
		る条例」に基づき、一斉清掃をはじめ、
		美化啓発キャンペーンや「江東区版アダ
		プトプログラム」などにより、区民等と
		協働し、まちの美化に取り組んでいきま
		す。
259	豊洲ぐるり公園などで、スケートボー	公園マナーにつきましては、今後、関係
	ダーのマナーを無視した活動が目立	部署と連携しながら検討を進めていきま
	つ。スポーツパークなどの施設で活動	す。
	できるようにして、パーク外で活動さ	
	せないようにしてほしい	
260	総合的に何科に行けば良いのか、相談	医療に関する相談につきましては、今後、
	できる場所や問い合わせできる(TEL	関係部署と連携しながら検討を進めてい
	で)ように、「ひまわり」を改善して	きます。
	ほしい。	
261	医療機関の技術や質のレベル、区民と	医療との連携につきましては、今後、関
	の信頼関係の構築、行政との連携等に	係部署と連携しながら検討を進めていき
	ついて計画に含まれていない。	ます。
262	広報のスピーカーが聞き取りにくい。	広報のスピーカーにつきましては、今後、
		関係部署と連携しながら検討を進めてい
		きます。
263	亀戸2丁目、3丁目地区に図書館をつ	公共施設の更新・長寿命化・統廃合を計
	くってほしい。	画的に推進します。
264	転入の際、マイナンバーカードを使っ	デジタル推進につきましては、今後、関
	た申込みをしたが、1 時間近く時間が	係部署と連携しながら検討を進めていき
	かかったので、区役所のデジタル推進	ます。
	をお願いする。	
265	都市計画ではありませんが健康診断	健康診断につきましては、今後、関係部
	に骨密度を加えてほしい。	署と連携しながら検討を進めていきま
		す。
266	外国人の受け入れに関するご意見。	ダイバーシティ(多様性)社会に向けた
		住環境づくりについて示しています。外
		国人に関連する課題等につきまして、今

No.	要旨	区の考え方(案)
		後、関係部署と連携しながら検討を進め
		ていきます。
267	有楽町線延伸による ST1 駅(枝川地	新駅 (ST1) 周辺のまちづくりを含む地下
	区)の開発事業に伴いどのような計画	鉄8号線沿線のまちづくり構想を令和4
	があるのか教えてほしい。	年度に策定する予定です。
268	地下鉄8号線延伸の工事スケジュール	地下鉄8号線延伸の工事スケジュールや
	や予算については、密に区民に情報提	予算については、区議会や区民への説明
	供をお願いする。	等について適切に対応していきます。
269	非常用水素燃料電池の普及に努めて	協業の予定は現在ありません。
	いる弊社との協業を希望する。	
270	身体の具合の悪い方のために目印と	今後も区政へのご協力をよろしくお願い
	杖を図案化して区に提案し、実現され	いたします。
	た。	
271	活発な地域活動、脱炭素、水辺の活用、	地域活動、脱炭素、水辺の活用、防災な
	防災などが重要である。	どは、将来都市像を構成する5つの「目
		指すべきまちの姿」として示しています。
272	特定の政党に対するご意見	ご意見として承りました。

以上